第69期

中間株主通信

2022年4月1日～2022年9月30日

Contents

株主の皆様へ……P.1
営業の概況（連結）……P.3
通期の見通し／研究開発の状況……P.5
研究開発パイプライン……P.6
株主様ご優待のお知らせ……P.7
財務諸表（連結）……P.8
会社情報……P.9
株式情報……P.10
株主メモ

ゼリア新薬
ZERIA

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第69期中間（第2四半期連結累計期間）の事業概況に関しまして、ここにご報告させていただきます。

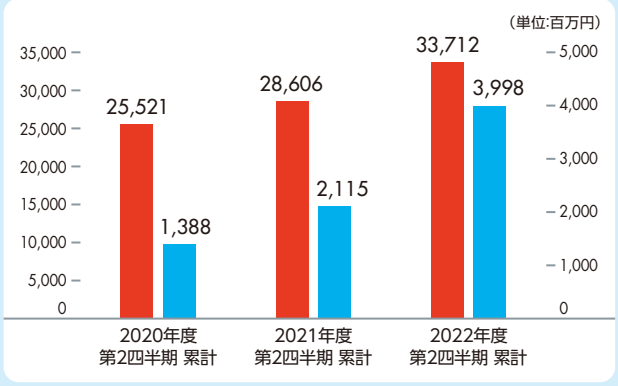
代表取締役会長兼CEO
伊部幸顕

代表取締役社長兼COO
伊部 亮弘

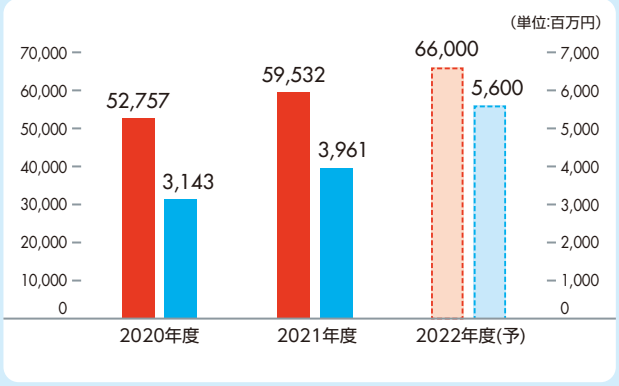
第69期中間決算の概要

当第２四半期連結累計期間の売上高は、337億12百万円（前年同四半期比17.9％増）となりました。利益につきましては、売上高が増加し原価率も改善したことから営業利益58億94百万円（前年同四半期比120.6％増）、経常利益51億82百万円（前年同四半期比66.3％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益39億98百万円（前年同四半期比89.0％増）といずれも大幅な増益となりました。なお、営業利益と経常利益の対前年同四半期比伸び率に大きな差が生じておりますが、これは前期には為替差益を計上したものの、当期はスイスフラン高の急激な進行により、多額の為替差損を計上したことによるものです。

売上高（■:左目盛）
親会社株主に帰属する四半期純利益（■:右目盛）



通期売上高（■:左目盛）
親会社株主に帰属する当期純利益（■:右目盛）



※2021年度第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。
2020年度については、当該会計基準を遡って適用した数値を記載しております。

医療用医薬品事業

主力製品の潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」につきましては、海外市場において高用量製剤「アサコール1600mg」の伸長を背景に堅調に推移し、売上は増加いたしました。炎症性腸疾患（IBD）治療剤「エントコート」（国内販売名:「ゼンタコート」）につきましても、海外市場において、カナダ、北欧さらには昨年現地法人を設立したイタリアなどで伸長し、売上は拡大いたしました。また、クロストリジウム・ディフィシル感染症治療剤「ディフィクリア」につきましては、欧州の感染症診療ガイドラインで第一選択薬として推奨される中、営業リソースを積極的に投入した結果、売上を大きく拡大いたしました。なお、「アコファイド」、「フェインジェクト」につきましては、それぞれ内視鏡実施医療機関、消化器科・産婦人科領域を中心に市場構築に努めております。

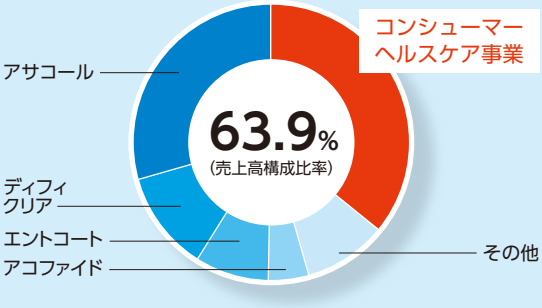
これらの結果、当事業の売上高は、215億5百万円（前年同四半期比19.5%増）となりました。

売上高

215億5百万円

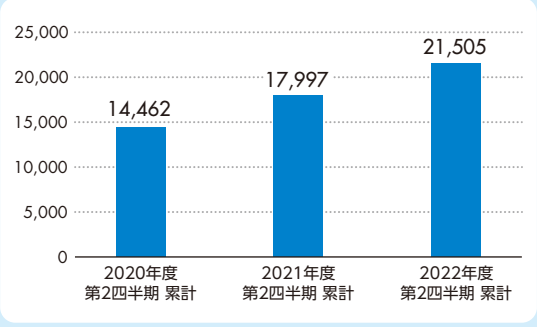
前年同四半期比 19.5%増

主要製品売上高



アサコール	98.8億円
ディフィクリア	38.9億円
エントコート	29.3億円
アコファイド	15.4億円

医療用医薬品事業連結売上高（単位:百万円）



コンシューマーヘルスケア事業

「ヘパリーゼ群」につきましては、未だ新型コロナウイルス感染拡大やインバウンド需要の激減などの影響を受けてはいるものの、医薬品ヘパリーゼ群に加え、コンビニエンスストア向けヘパリーゼW群が大幅に伸長したことにより、売上が大きく増加いたしました。「コンドロイチン群」につきましては、積極的な広告宣伝投資などの効果もあり、売上は堅調に推移いたしました。一方、植物性便秘薬「ウィズワン群」は、競合品の影響などにより、売上は減少いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、121億31百万円（前年同四半期比15.2%増）となりました。

OTC医薬品

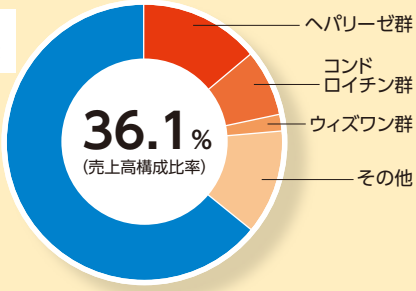
ヘパリーゼ®Wシリーズ

▶売上高

121億31百万円　前年同四半期比 15.2%増

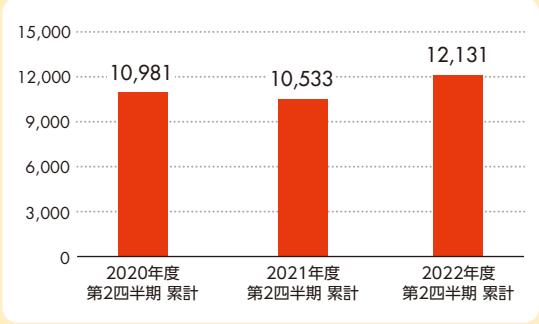
▶主要製品売上高

医療用医薬品事業



ヘパリーゼ群	46.9億円
コンドロイチン群	26.3億円
ウィズワン群	6.2億円

▶コンシューマーヘルスケア事業連結売上高(単位:百万円)



通期の見通し／研究開発の状況

通期の見通し

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、海外市場においてアサコール、ディフィクリア、エントコートを中心に医療用医薬品事業が好調に推移したことや、新型コロナウイルス感染症の影響で苦戦を強いられていたヘパリーゼ群が回復基調となったことなどから、売上高、利益ともに当初予想を上回りました。

通期の業績につきましては、海外の医療用医薬品事業を中心に引き続き堅調に推移する見込みですが、為替や新型コロナウイルス感染症の動向が不透明であることから、現時点では2022年5月11日に発表した通期連結業績予想を修正しておりません。

	第68期	第69期（予想）
売上高	595億32百万円 （前期比12.8%増）	660億円 （前期比10.9%増）
営業利益	63億66百万円 （前期比83.2%増）	70億円 （前期比10.0%増）
経常利益	59億35百万円 （前期比85.0%増）	70億円 （前期比17.9%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	39億61百万円 （前期比26.0%増）	56億円 （前期比41.4%増）

研究開発の状況

研究開発におきましては、Tillotts Pharma AGとの連携によるグローバル開発体制のもと、重点領域である消化器分野を中心に、導入品を含めた新薬の研究開発を推進してまいりました。

自社オリジナル品の「Z-338（アコファイド）」につきましては、国内において、小児機能性ディスペプシア患者を対象としたフェーズⅢを実施しております。また九州大学が実施するフェーズⅡ多施設共同医師主導治験に治験薬を提供し、食道胃接合部通過障害患者を対象としたアコチアミドの有効性および安全性の探索に研究支援しております。さらにはZ-338導出先のMeiji Seika ファルマ株式会社およびFaes Farma, S.A.に対する製造販売承認取得に向けた活動を支援しており、これまでに中米2カ国で承認されております。

スイスVifor（International）AGから導入いたしました「ZG-801」につきましては、高カリウム血症を対象として、国内においてフェーズⅢ試験を遂行しております。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、「ビュークリアHi40アクティブ」、「ビュークリアAGフレッシュ」などの点眼薬やローヤルゼリーの医薬品「ハイゼリー顆粒EX」を順次発売いたしました。引き続き、西洋ハーブ製剤をはじめ、特徴ある製品の開発に取り組んでまいります。

研究開発パイプライン

新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

(2022年11月2日現在)

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序 および 特長	起源
フェーズⅢ	Z-338／アコチアミド	ゼリア	小児機能性 ディスペプシア	上部消化管 運動改善作用	自社品
フェーズⅢ	ZG-801／パチロマーソ ルビテクスカルシウム	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合 非吸収性ポリマー	導入品
フェーズⅡ* (医師主導治験)	Z-338／アコチアミド	九州大学	食道胃接合部通過障害	上部消化管 運動改善作用	自社品

*：日本医療研究開発機構(AMED)の助成事業に採択

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序 および 特長	起源
フェーズⅢ (欧州)	Z-338／アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管 運動改善作用	自社品
承認 (メキシコ、ホンジュラス)	Z-338／アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペプシア	上部消化管 運動改善作用	自社品 (導出)
申請中 (チリ、コロンビア、ペルー、 エクアドル、ドミニカ共和国、 コスタリカ、グアテマラ、パナマ)	Z-338／アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペプシア	上部消化管 運動改善作用	自社品 (導出)
申請中 (タイ、インドネシア)	Z-338／アコチアミド	Meiji Seika ファルマ	機能性ディスペプシア	上部消化管 運動改善作用	自社品 (導出)

ご参考

フェーズⅠ(第Ⅰ相臨床試験)

動物実験を終えて効き目(有効性)と安全性が確認された「薬の候補」は、少人数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

フェーズⅡ(第Ⅱ相臨床試験)

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少人数の患者さんで「薬の候補」の効き目(有効性)、副作用(安全性)、投与量、投与方法などの適切な使用方法をプラセボ※と比較しながら調べます。

フェーズⅢ(第Ⅲ相臨床試験)

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目(有効性)、副作用(安全性)、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、プラセボと比較する試験を行います。多くの場合、二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

※プラセボ　有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待を行っております。
当社株式1,000株以上をご所有の株主様にはA～G、7つのコースからご希望のいずれかを、
100株以上1,000株未満をご所有の株主様にはHコースをお届けいたします。
ご試用によって、当社グループの幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

A コース

清涼飲料水・指定医薬部外品・
特定保健用食品

「アルミ缶入りドリンク詰め
合わせヘパリーゼ®Wセット」

B コース

栄養補助食品

「コンドロサポート®
詰め合わせ」
288粒入り1個/90粒入り3袋

C コース

化粧品・医薬部外品・
栄養補助食品

「コンドロマックス®・
アポスティー®セット」

D コース

スパ発想の
オールインワン化粧品

「イオナ スパ&ミネラル
詰め合わせ」

E コース

上質なうるおいを
体感する3品目

「IONAベーシック
スキンケア3点セット」

F コース

コンドロイチン研究を活かした、
うるおい体感の上質スキンケア

「イオナ R スペシャルケア
2点セット」

G コース

健康補助食品

「シーアルパ®100」
180粒入り1個

H コース

肝臓エキス配合炭酸飲料

「ヘパリーゼ®W炭酸」
10本

E,Fコースの製品はゼリアオンラインショップ(https://www.zeriaonline.com/)でお買い求めいただけます。

財務諸表（連結）

四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目 ＼ 期別	前期末 2022年3月31日現在	当第2四半期末 2022年9月30日現在
[資産の部]		
流動資産	**41,663**	**48,763**
現金及び預金	11,704	15,293
受取手形及び売掛金	16,206	18,719
商品及び製品	6,721	7,314
仕掛品	1,409	1,194
原材料及び貯蔵品	3,819	4,521
その他	1,855	1,791
貸倒引当金	△53	△72
固定資産	**82,618**	**85,644**
有形固定資産	**23,139**	**23,687**
建物（純額）	6,655	6,499
土地	12,354	12,361
その他（純額）	4,130	4,826
無形固定資産	**41,206**	**44,165**
投資その他の資産	**18,273**	**17,791**
資産合計	**124,282**	**134,407**
[負債の部]		
流動負債	**44,193**	**47,929**
買掛金	2,049	2,425
短期借入金	33,842	36,570
その他	8,300	8,932
固定負債	**24,996**	**24,656**
長期借入金	18,385	17,480
退職給付に係る負債	1,073	1,054
資産除去債務	55	55
その他	5,481	6,065
負債合計	**69,189**	**72,585**
[純資産の部]		
株主資本	**49,546**	**52,208**
資本金	**6,593**	**6,593**
資本剰余金	**11,685**	**11,685**
利益剰余金	**48,860**	**52,059**
自己株式	**△17,593**	**△18,129**
その他の包括利益累計額	**5,348**	**9,373**
非支配株主持分	**197**	**240**
純資産合計	**55,092**	**61,822**
負債純資産合計	**124,282**	**134,407**

四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目 ＼ 期別	前第2四半期累計期間 2021年4月 1日から 2021年9月30日まで	当第2四半期累計期間 2022年4月 1日から 2022年9月30日まで
売上高	28,606	33,712
売上原価	8,462	9,376
売上総利益	20,143	24,335
販売費及び一般管理費	17,470	18,441
営業利益	2,672	5,894
営業外収益	609	230
営業外費用	165	942
経常利益	3,116	5,182
特別利益	6	20
特別損失	3	231
税金等調整前四半期純利益	3,119	4,970
法人税等	998	964
四半期純利益	2,120	4,006
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,115	3,998

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目 ＼ 期別	前第2四半期累計期間 2021年4月 1日から 2021年9月30日まで	当第2四半期累計期間 2022年4月 1日から 2022年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,111	5,332
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,696	△963
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,082	△2,119
現金及び現金同等物に係る換算差額	143	1,340
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	476	3,589
現金及び現金同等物の期首残高	9,668	11,579
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,274	15,168

会社情報（2022年9月30日現在）

会社概要

創立	1955年12月
資本金	6,593,398,500円
社員数	1,734名（連結）
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売および輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売および輸出入

取締役および監査役

代表取締役会長 兼 CEO	伊部幸顕
代表取締役社長 兼 COO	伊部充弘
取締役副社長	遠藤広和
取締役（社外取締役）	小森哲夫
取締役（社外取締役）	野本亀久雄
取締役（社外取締役）	森元誠二
常勤監査役	高見幸二郎
常勤監査役	石山佳治
監査役	中由規子
監査役	紙透大

執行役員

常務執行役員	加藤博樹
常務執行役員	岡澤有輝
執行役員	平賀義裕
執行役員	河越利明
執行役員	草野研治
執行役員	岩井充
執行役員	秋庭和広
執行役員	鈴木健一

事業所

- 本社
- 札幌支店
- 仙台支店
- 東京支店
- 名古屋支店
- 大阪支店
- 中四国支店
- 福岡支店
- 中央研究所
- 埼玉工場
- 筑波工場
- 札幌物流センター
- 東京物流センター
- 埼玉物流センター
- 大阪物流センター
- 九州物流センター

主な子会社

- Tillotts Pharma AG（スイス）
- Tillotts Pharma AB（スウェーデン）
- Tillotts Pharma Ltd.（アイルランド）
- Tillotts Pharma UK Ltd.（英国）
- Tillotts Pharma Czech s.r.o.（チェコ）
- Tillotts Pharma Spain S.L.U.（スペイン）
- Tillotts Pharma GmbH（ドイツ）
- Tillotts Pharma France SAS（フランス）
- Tillotts Pharma Italy srl（イタリア）
- Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd（ベトナム）
- ZPD A/S（デンマーク）
- ゼリアヘルスウエイ株式会社
- イオナ インターナショナル株式会社
- 健創製薬株式会社
- 株式会社ゼービス
- 株式会社ゼリアップ

株式情報（2022年9月30日現在）

株式の状況

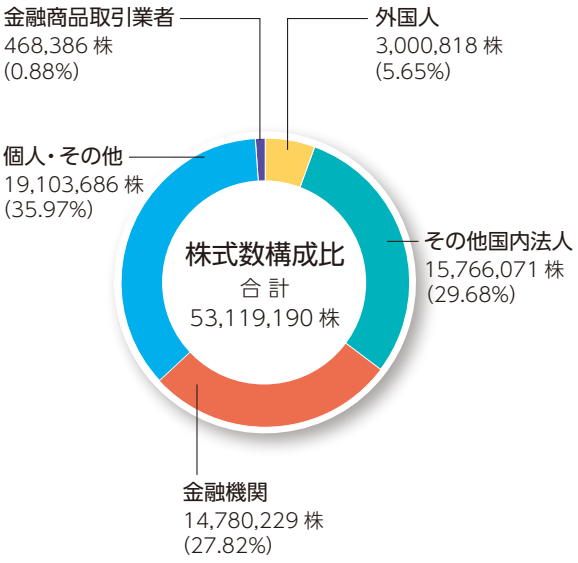
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	53,119,190株
③株主数	12,462名

大株主

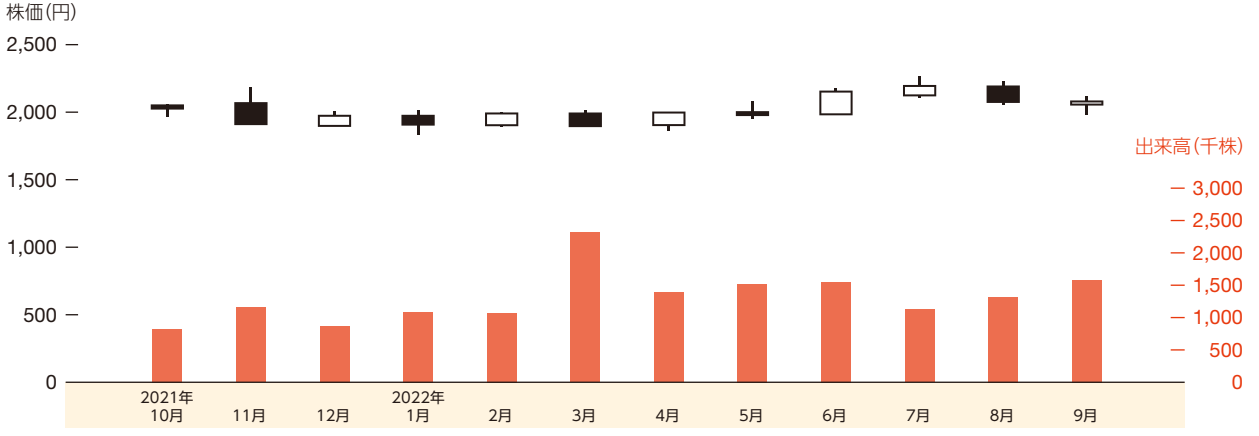
株　主　名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社伊部	4,741,847	10.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,624,100	8.2
株式会社三菱UFJ銀行	2,107,050	4.8
森永乳業株式会社	1,840,215	4.2
伊部幸顕	1,592,967	3.6
株式会社三井住友銀行	1,406,131	3.2
株式会社みずほ銀行	1,406,053	3.2
株式会社りそな銀行	1,182,385	2.7
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	944,560	2.1
SMBCファイナンスサービス株式会社	900,900	2.0

(注)持株比率については、自己株式(8,974,949株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当　毎年3月31日 中間配当　毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先（電話照会先）	〒168−0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 電話　0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

▶住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

▶未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。

https://www.zeria.co.jp/

ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室
〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351（代表）　FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
https://www.zeria.co.jp/

健康づくりは幸せづくり
ゼリア新薬
ZERIA